

宮崎工業高校インテリア科での木育教室

1年を通し、4回に分けて生徒と保護者に向けて、木育の普及啓発を目的として実施します。

前回、見学ツアーで伺った企業の経営者を学校に招いて、事後学習会を実施しました。また、修学旅行では高校生木育デザインプロジェクトでお世話になっている講師の働く企業を訪問しました。

生徒向け事後学習会

日時：平成29年10月16日(木) 13:25～15:15
場所：宮崎県立宮崎工業高校
参加者数：45名(生徒40名、教員2名、講師3名)
講師：(株)松岡林産 代表取締役 松岡明彦氏
都城木材(株) 代表取締役 五十嵐可久氏
ランバー宮崎協同組合 専務理事 川上泉氏

修学旅行

日時：平成30年1月16日(火) 11:00～14:00
見学場所：無印良品有楽町、内田洋行
参加者数：39名(生徒数)



いつもは宮崎に来ていただいている講師の先生方が働く場所を見学しました。無印良品有楽町ではインテリアアドバイザー(IA)に、学生時代から無印良品のIAになるまでと今の仕事についてお話を伺いました。また、内田洋行ではデザイナーの仕事についてお話を伺った後、最新の教育機材を体験しました。



IAからのお話の様子



無印良品有楽町店内見学



MUJI ミールの弁当を食べる様子



若杉チームのお話



パワープレイス社内見学



最新の教育機材を体験

3つの企業の経営者を前に、グループ毎に深掘りした企業のことについて発表しました。また、経営者の皆さんから発表内容にコメントをいただいたり、さらに生徒側が人生について質問したりと良い雰囲気の中で交流が行われました。



学習会の様子



ランバー宮崎協同組合 川上氏



都城木材(株) 五十嵐氏



松岡林産 松岡氏

● 見学ツアーに参加した生徒の感想より ● <一部省略あり>

(株)松岡林産見学後

- 伐採の現場では、材の枝払い・玉切りまで行い、運搬している。人の手と目が欠かせないことを知った。

都城木材(株)見学後

- 伐採された木が製材されるまでの過程をよく知ることができました。また、住宅が人を守るためのものではないといけないという理念から、安全性の向上に努めていることにとっても感銘を受けました。この貴重な体験をこれからの勉強に生かしていきたいです。

ランバー宮崎協同組合見学後

- 木材加工の現場を実際に見て、今までに無い経験ができました。私たちが普段生活する上で目にしたり、触れている木材に様々な思いや工夫がされていることを知り、改めてそのありがたさを身をもって感じました。

木育ネットワーク部会とは

豊かな森林を次世代に引き継いでいくには、県民一人ひとりが、木材の良さや利用することの意義について理解と認識を深め、県民全体で県産材の地産地消に取り組むことが重要であることから、みやぎき木づかい県民会議を平成25年2月に設置し、木づかい運動を進めてきました。

木づかい運動を進める上では、子どもたちを中心に木に触れ親しむ機会や、森林・林業、木材、資源循環について分かりやすく伝える機会を創出する木育活動を進めることが非常に大切であることから、木育に積極的に取り組む企業・団体・行政等の参画による木育ネットワーク部会を設置いたしました。

お問い合わせ

みやぎき木づかい県民会議 木育ネットワーク部会 事務局
宮崎県森林林業協会・宮崎県山村・木材振興課みやぎき木活用推進室
〒880-0802 宮崎市別府町3番1号 宮崎日赤会館2F TEL: 0985 (27) 7682 / FAX: 0985 (25) 2398
※木育かわら版の発行には「森林環境税」が活用されています。



木育 MOKUIKU かわら版

知ろう、使おう、広げよう、みやぎきの木



木に触れて、木と遊び、木を学ぶ

Vol. 6

Contents

Page1	第3回木育・森育楽会 in 宮崎
Page2	高校生木育デザインプロジェクト 平成29年度木育ネットワーク部会勉強会
Page3	平成29年度木育ネットワーク部会勉強会
Page4	宮崎工業高校インテリア科での木育教室

第3回木育・森育楽会 in 宮崎

日時：平成29年12月3日(日) 10:00～16:30
場所：みやぎきアートセンター 参加者数：146名
主催：木育・森育楽会実行委員会 共催：宮崎県協
協力：みやぎきアートセンター



開会式では宮崎県環境森林部の川野部長が挨拶



西原智昭氏の基調講演



「全体討論」



分科会「ことごと」ができるまで



分科会「道具の活用工夫でレベルアップ」



分科会「ツリーハウスづくり」



分科会「地域素材を活用したものづくり」



参加者の様子

> 宮崎木育・森育体験ツアー

前日、12月2日(土)にエクスカージョンとして、日南市の「あがた幼稚園」、「油津商店街」、「日南市子育て支援センター『ことごと』」を見学するツアーを実施し、県内外から45名の参加がありました。「ことごと」では日南市市長の崎田市長にお迎えいただき、また、「あがた幼稚園」や「油津オアシスこども園」では、伊豆元園長にご案内いただき、充実した体験ツアーとして実施することができました。



あがた幼稚園 伊豆元園長



油津オアシスこども園の外観



日南市 崎田市長



日南市子育て支援センター「ことごと」



あがた幼稚園の視察の様子

MOKUIKU

高校生木育デザインプロジェクト 日時：平成29年12月3日(日) 9:00～10:00
 場所：みやざきアートセンター5階アートスペース2 参加者：生徒数30名

高校生木育デザインプロジェクト第3回目が行われました。前回10月9日から2か月という短い期間の中で、アイデアを深化させ紆余曲折ありながらも出来上がった試作品を見せながらプレゼンが行われました。



宮崎工業高校。「お弁当箱」は一品一品、立体的なデザインも考えられていました。



宮崎工業高校。「動物シーソー」は、ゾウが土台として支えているところが印象的。



宮崎工業高校▶動物シーソー



宮崎工業高校▶お弁当箱



講師の小山さんも興味津々！手に取って遊んでいます。



都城西高校。紙芝居の内容に沿って積み木を動かします。



宮崎工業高校▶組み立て積み木



都城西高校▶おはなし積み木



講師陣も力作ばかりに悩みに悩みました。



最後に大人チームの「大ちゃん」も発表！



宮崎工業高校▶絵あわせパズル

今回は、宮崎工業高校の「動物シーソー」が優勝！

平成29年度 木育ネットワーク部会勉強会

木工のいろハ教室

講師：宮崎大学 藤元 嘉安氏

かなな編	組立て編
日時：平成29年10月27日(水) 13:30～16:00	日時：平成29年11月22日(水) 13:30～16:00
場所：宮崎大学	場所：宮崎大学
参加者：10名	参加者：11名



藤元 嘉安(ふじもと よしやす)
 宮崎大学 教育学部教授
 1989年～2001年 九州大学農学部助手
 2001年～2011年 宮崎県木材利用技術センター木材加工部長 2011年から現職

かなな編<かなな実習>

かななの歴史から、かななの種類、名称、調整の仕方、切削状態など、かななに関する座学を聞いた後、実際にかななを調整し、平面削り、小端削り、小口削りを行いました。ひたすら削った後は、箸づくりの治具を用い、自分専用の箸を作りました。



刃の調整がとても難しい((+_+))

組立て編<釘打ち実習・組み立て>

いろハ教室最終回は、釘の打ち方の講習と組み立てを学びました。平面と小口での釘の入り方の違いを感じたり、組み立てでは瞬間接着剤のつけ方を学び、実際に小さな箱を作りました。



框目のところ、節のところ、場所によっては、まっすぐ打ち込むのが難しいです。



キットになっている部品を丁寧に組み立てます。



完成！

- 参加者の感想より ● <一部省略、加筆あり>
- 習得するには時間が足りないが、カンナについて知ることができ良かった。
- カンナの刃の出し方の難しさ、挽く時の力加減など大変でした。でもとても楽しく学ばせて頂きました。
- カンナの使い方を習ったことがなかったので、体験的に理解でき技能が向上しました。前回もですが、詳しい話が聞けるのも大変ありがたいです。
- 長時間使ったのは初めてでした。大変勉強になりました。
- 中学生の時分から使っていなかったので勉強になりました。

平成29年度 木育ネットワーク部会勉強会

1 保育士との意見交換会の実施

日時：平成29年6月17日(土) 13:15～14:30
 場所：めぐみ保育園
 参加者：13名

昨年製作したおもちゃの感想を話し合いました。その時の製作の様子は木育かわら版VOL.3のPage2で紹介しています。



意見交換会の様子

2 木のおもちゃ作りワークショップ

日時：平成30年1月27日(土) 13:00～17:00
 場所：ボーイスカウト宮崎連盟野外訓練センター
 講師：宮崎大学 藤元 嘉安氏
 宮崎国際大学 守川 美輪氏
 参加者：16名(保育士7名、講師2名、木育サポーター3名、宮崎大学学生2名、事務局2名)

保育士さんが描いたおもちゃのイラストを基に講師の先生方や木育サポーター、宮崎大学の学生が具体的に試作したものをお手本に、ワークショップを行いました。参加した保育士さん達は、機械や道具の使い方を指導してもらいながら、なんとか半日で完成させました。保育士さん手作りの木のおもちゃで園児が遊ぶ日が楽しみです。



- 参加保育士の感想より ● <一部省略、加筆あり>
- ▶うさぎのまわるおもちゃ
 - 後ろに車輪があったら良かったかもしれない。
- ▶積み木(組手)
 - 2歳児と遊んだが、重ねる時にうまくはまらなかった。
- その他
 - 買ったものより親しみがわく。
 - 楽しかった。こういう機会があって良かった。
 - 木の良さが分かったので、私も木のおもちゃを作って思い出作りをしたい。



完成品とともに記念撮影☆



木育サポーターのサポートのもと、部材を組み立てます。



守川先生の指導のもと、おもちゃの作り方の手順を確認。



機械も使用し製作。



学生と一緒に製作。



完成▶やさい、くだもの、たべもの



完成▶バースデーケーキ



完成▶食器棚



完成▶テーブルといす

- 参加保育士の感想より ● <一部省略、加筆あり>
- おもちゃ作りに参加して感じたことは何ですか？
- 木目に合わせて作ったり、一つ一つの大きさをしっかり測ったりと、どのおもちゃも丁寧に作られている事を改めて感じました。優しい教え方に助けられました。
- 完成した時はとても達成感を感じたので、この気持ちを子ども達に味わってほしいと思いました。
- 木目を活かした木のおもちゃにはプラスチックのおもちゃにはないぬくもりがあって、とても良いなと思いました。手づくりしたことにより、より大切にしたいと思います。

- これから自分でやりたいと思えたことは何ですか？
- 作ったおもちゃを使ってたくさん遊びたい。他にもいろんな物を作り、木製のものを多く取り入れ保育をしたい。木の温もりを子ども達に感じてもらいたい。
- 道具の使い方を詳しく知りたい。
- 子どもと一緒にワークショップに参加したい。おもちゃ屋さんですぐ買うのではなく、一緒に考えて一緒に作るのもすごく良いな、と思いました。
- 他のものにも挑戦していきたい。